



2022年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月14日

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所 東
 コード番号 3747 URL <https://www.itrade.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 一也
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 (氏名) 小笠原 功二 (TEL) 03-4540-3002
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第1四半期の連結業績(2021年10月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第1四半期	413	△12.6	19	△58.1	△22	—	△31	—
2021年9月期第1四半期	473	12.9	47	—	△3	—	46	—

(注) 包括利益 2022年9月期第1四半期 △32百万円(—%) 2021年9月期第1四半期 48百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第1四半期	△4.35	—
2021年9月期第1四半期	6.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第1四半期	1,385	1,083	77.8
2021年9月期	1,452	1,115	76.4

(参考) 自己資本 2022年9月期第1四半期 1,077百万円 2021年9月期 1,109百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年9月期	—	—	—	—	—
2022年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日~2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,200	2.0	196	△10.7	60	168.2	25	△87.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年9月期1Q	7,444,800株	2021年9月期	7,444,800株
② 期末自己株式数	2022年9月期1Q	259,200株	2021年9月期	259,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年9月期1Q	7,185,600株	2021年9月期1Q	7,185,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、取引所外取引システム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ビジネスソリューション事業」及び健康食品や化粧品等の開発及び販売を中心とする「ヘルスケア事業」の3つです。

当第1四半期連結会計期間（以下、「当第1四半期」）の当社グループの連結経営成績は次の表のとおりです。

	2021年9月期 (前連結会計年度)		2022年9月期 (当連結会計年度)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	473	100.0	413	100.0	87.4
金融ソリューション事業	356	75.3	335	81.2	94.3
ビジネスソリューション事業	82	17.4	40	9.9	49.5
ヘルスケア事業	34	7.3	36	8.9	106.6
営業利益	47	—	19	—	41.9
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	46	—	△31	—	—

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

当第1四半期の業績は、ヘルスケア事業が増収となったものの、金融ソリューション事業及びビジネスソリューション事業で減収となり、連結売上高は前年同期に比べて59百万円減収の413百万円となりました。また損益面においては営業利益19百万円、持分法適用関連会社である株式会社デジタルアセットマーケット（以下、「デジタルアセットマーケット」）の持分法による投資損失42百万円を計上したことにより経常損失は22百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は31百万円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでいません。

(金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社及びデジタルアセットマーケットの事業です。

当第1四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 335百万円（前年同期比94.3%）

セグメント利益 120百万円（前年同期比91.8%）

2022年2月7日に『Spider Digital Transfer 日本初の金（ゴールド）価格に連動することを目指す暗号資産ジパングコイン向け サービス稼働のお知らせ』にて公表したとおり、これまでデジタルアセットマーケットと開発を進めてきた『Spider Digital Transfer』が、2022年2月17日より本格稼働致します。『Spider Digital Transfer』の納品・検収は前連結会計年度中に済んでおり保守フェーズに入っておりますが、今後、ジパングコインの利便性を更に向上すべく、将来的に様々な機能を実装する予定です。当社は今後も継続して『Spider Digital Transfer』の機能拡充をサポートしてまいります。

当第1四半期は、当該『Spider Digital Transfer』の機能拡充が継続し、安定した売上を計上したものの、前第1四半期が好調だったこともあり、売上高は前年同期比94.3%の335百万円となりました。損益面は減収の影響で前年同期比91.8%の120百万円のセグメント利益となりました。

(ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当第1四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	40百万円 (前年同期比49.5%)
セグメント損失	14百万円 (前年同期は12百万円のセグメント利益)

前期コロナ禍における経済活動の停滞の中、受注活動の延伸等の影響により、経営統合管理プラットフォーム『GroupMAN@IT e2』の新規導入や追加開発案件が前年同期に比べ少なかったために、売上高は前年同期比49.5%の40百万円となり、損益面は、減収の影響により、14百万円のセグメント損失となりました。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は当社及び株式会社インタートレードヘルスケアの事業です。

当第1四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	36百万円 (前年同期比106.6%)
セグメント損失	11百万円 (前年同期は19百万円のセグメント損失)

女性特有の健康問題に関するサプリメント市場(フェムケア市場)は拡大傾向にあり、更年期女性をターゲットに『ITはなびらたけ』の効果効能を訴求し、前年同期に比べOEM取引が増加したことにより、売上高は前年同期比106.6%の36百万円と増収となりました。損益面においては、増収の影響及び経費削減等継続して収益構造を改善した結果、セグメント損失は、19百万円から11百万円になりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産額(負債及び純資産の合計額)は、前連結会計年度末に比べ66百万円減少し、1,385百万円となりました。自己資本比率は77.8%、当座比率(当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標)は305.3%となっています。

(資産)

資産合計1,385百万円のうち、現金及び預金が698百万円(構成比50.4%)を占めています。

その他の主な資産は、受取手形、売掛金及び契約資産156百万円(構成比11.3%)、棚卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)93百万円(構成比6.7%)、投資有価証券179百万円(構成比13.0%)となっています。

なお、総資産額が前連結会計年度末に比べ66百万円減少した主な要因は、現金及び預金が89百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が162百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債合計302百万円のうち、短期借入金が100百万円(負債及び純資産合計に対する構成比7.2%)、買掛金(同構成比4.5%)が62百万円となっています。

なお、負債合計が前連結会計年度末に比べ34百万円減少した主な要因は、未払法人税等が26百万円、買掛金が23百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産合計1,083百万円の内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金996百万円、利益剰余金△1,302百万円、自己株式△95百万円、非支配株主持分4百万円となっています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは金融市場の動向の影響を受ける事業環境にありますが、現時点では2021年9月期決算短信記載の連結業績予想で想定したとおりに進捗しており、連結業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	608,898	698,285
受取手形、売掛金及び契約資産	318,977	156,751
商品及び製品	11,735	12,454
仕掛品	31,316	75,159
原材料及び貯蔵品	6,473	5,714
その他	51,507	58,124
貸倒引当金	△256	△256
流動資産合計	1,028,653	1,006,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,320	5,982
工具、器具及び備品（純額）	30,076	26,897
リース資産（純額）	21,949	19,217
有形固定資産合計	58,346	52,097
無形固定資産		
ソフトウェア	6,287	8,148
その他	364	364
無形固定資産合計	6,652	8,513
投資その他の資産		
投資有価証券	221,761	179,625
繰延税金資産	10,050	10,050
敷金及び保証金	124,370	124,370
その他	14,454	16,579
貸倒引当金	△11,851	△11,851
投資その他の資産合計	358,786	318,774
固定資産合計	423,785	379,385
資産合計	1,452,438	1,385,620

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	85,149	62,060
契約負債	13,177	28,667
短期借入金	100,000	100,000
リース債務	12,080	12,184
未払法人税等	42,386	15,468
その他	58,867	61,701
流動負債合計	311,661	280,083
固定負債		
リース債務	12,601	9,516
退職給付に係る負債	8,683	9,303
その他	4,224	3,432
固定負債合計	25,508	22,252
負債合計	337,170	302,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	996,567	996,567
利益剰余金	△1,270,943	△1,302,200
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	1,109,025	1,077,768
新株予約権	-	742
非支配株主持分	6,243	4,773
純資産合計	1,115,268	1,083,284
負債純資産合計	1,452,438	1,385,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2021年12月31日)
売上高	473,059	413,297
売上原価	298,457	268,250
売上総利益	174,602	145,047
販売費及び一般管理費	127,403	125,277
営業利益	47,199	19,770
営業外収益		
受取配当金	66	-
助成金収入	2,009	-
その他	65	113
営業外収益合計	2,140	113
営業外費用		
支払利息	408	345
持分法による投資損失	52,770	42,136
その他	9	0
営業外費用合計	53,188	42,481
経常損失(△)	△3,848	△22,597
特別利益		
持分変動利益	61,147	-
特別利益合計	61,147	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	57,298	△22,597
法人税、住民税及び事業税	7,505	10,128
法人税等調整額	1,390	-
法人税等合計	8,896	10,128
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,402	△32,725
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,226	△1,469
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	46,175	△31,256

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,402	△32,725
四半期包括利益	48,402	△32,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,175	△31,256
非支配株主に係る四半期包括利益	2,226	△1,469

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当第1四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。また、「流動負債」に表示していた「前受金」は、当第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示しています。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	金融ソリュー ション事業	ビジネスソリ ューション事 業	ヘルスケア 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	356,045	82,508	34,506	473,059	—	473,059
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	356,045	82,508	34,506	473,059	—	473,059
セグメント利益又は損失 (△)	130,969	12,265	△19,282	123,953	△76,753	47,199

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△76,753千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	金融ソリュー ション事業	ビジネスソリ ューション事 業	ヘルスケア 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	335,697	40,818	36,782	413,297	—	413,297
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	335,697	40,818	36,782	413,297	—	413,297
セグメント利益又は損失 (△)	120,213	△14,592	△11,588	94,031	△74,261	19,770

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△74,261千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。